

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和1年7月11日(2019.7.11)

【公表番号】特表2017-514963(P2017-514963A)

【公表日】平成29年6月8日(2017.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2017-021

【出願番号】特願2016-566727(P2016-566727)

【国際特許分類】

C 08 F 290/12 (2006.01)

C 09 K 3/10 (2006.01)

【F I】

C 08 F 290/12

C 09 K 3/10 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】令和1年5月31日(2019.5.31)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0039

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0039】

上記の不飽和基含有ウレタン樹脂(A)は、お互いに、上記のオリゴマージオール(a)、二官能エポキシ(メタ)アクリレート(b)及びポリイソシアネート(c)を反応させることにより製造できる。この反応は溶媒の存在下又は非存在下で実施することができる。適した溶媒として、有機溶媒が使用される。有機溶媒は、例えば、炭化水素、ケトン、エーテル及びエステルから選択される化学的に不活性な溶媒を含む。反応終了後、使用された有機溶媒は、例えば減圧下での蒸留により、製造された不飽和基含有ウレタン樹脂から除去される。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0076

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0076】

実施例7

イソノニルアクリレート282g及びフェノキシエチルアクリレート94gの混合物の代わりに、ノニルフェノキシポリエチレングリコールアクリレート300g及びイソボルニルアクリレート76gの混合物を成分(b)として使用した以外は、その他の全ての方法は同じままで、実施例1に記載された同じ手順で実施した。これにより、硬化性組成物の全質量に基づいて、17'000の数平均分子量Mn及び0.21mol/kgの不飽和度を有する不飽和基含有ウレタンアクリレートオリゴマー(A)50質量%、アクリル酸エステルモノマー(B)47質量%、及び光重合開始剤(C)3質量%、を含む放射線硬化性シーリング剤組成物を得た。